

令和3年度 熊野町農商工業優秀従業者表彰

町では永年にわたり熊野町で農商工業に従事され、各分野で活躍されている人を毎年表彰しています。令和3年度は、農業の分野で立花宏保さん（初神）、工業の分野で池本京子さん（石神）に表彰状と記念品を授与しました。



池本 京子さん



立花 宏保さん

(産業観光課)

LGBTsについてご存じですか？

LGBTとは、性的マイノリティを表す総称の一つで、以下の4つの用語の頭文字を組み合わせています。

Lesbian (レズビアン) =女性同性愛者
Gay (ゲイ) =男性同性愛者
Bisexual (バイセクシュアル) =両性愛者
Transgender (トランスジェンダー) =心身の性が一致しない人

この他にいくつか用語があり、まとめてLGBTs、LGBT+と表現されています。

また、勘違いされやすいですが、LGBは性的指向を、Tは性自認を意味する単語であるため、一つにまとまった表現になっていても、実はテーマが異なります。

LGBT当事者の中には、性的指向や性自認を告白することで、「自分を偽ることなく生きたい」と思っている人が数多くいます。しかし、現実的には、LGBTであることや、いわゆる典型的でない性表現を嘲笑したり、からかったりする環境があることが実情です。

私たち一人ひとりが、性の多様性について理解し、受け入れる環境を作っていく必要があります。

(生活環境課)

春の全国交通安全運動が行われます。例年、入学や進級を迎えるこの時期は、子どもが関係する交通事故が増加する傾向にあります。一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを実践しましょう。4月6日(水)～15日(金) 令和4年広島県交通安全年間スローガン 「ゆるさない ハンドル・スマホの二刀流」 (防災安全課)

芸術類型 卒業作品展・演奏会

熊野高等学校

この地に (311)

2月15日(火)から20日(日)広島県立美術館県民ギャラリーにて芸術類型卒業作品展を開催しました。まん延防止等重点措置期間中の開催となり、慎重に感染症対策を行いながら実施しました。美術コースは感性豊かな100号、50号の絵画作品の傍らに、自画像を配置し、創造性のある立体造形作品も花を添えました。書道コースは、漢字による4本の合作軸を壁面中央に展示し、その両脇に仮名・漢字・漢字仮名交じりの書など、個性彩る書を展示しました。また、19日(土)は生徒による作品解説を行い、安田女子大学と広島大学の先生にご講評をいただきました。

音楽コースは、同日午後エリザベト音楽大学ザビエルホールにおいて卒業演奏会を開催しました。感染症対策のため事前に入場券を発行し開催しましたが、早々満席となりました。ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で、7人の生徒たちは、これまでの学習の成果を披露することができました。緊張感溢れる独唱・独奏の後、客席から温かい拍手をいただき、達成感と共に感謝の思いを味わうことができました。開催にあたり御支援、御協力していただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。



▲卒業作品展 作品解説



◀卒業演奏会

熊野高等学校 ☎854-4155



(教育総務課)

優しくてワクワクした感じで子どもが見入るような絵柄で可愛いと思いました。登場動物も沢山で声を変えて読んでら特におもしろかったみたいです。親子で楽しめる本だと思います。

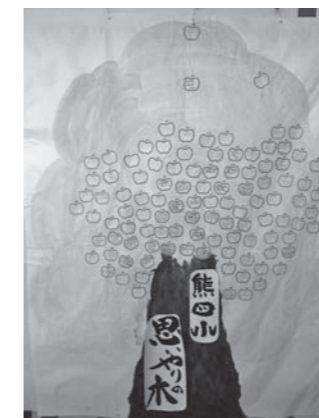
阪下 綾香(母) ドアにいるものがおもしろくて、にんじんのご飯ばっかりで嫌だ。にんじんのご飯を見て口をあけているリスがとってもかわいい。

『この本、よかったー』(104) 『だんごのついでに』(104) 作 きむら ふういち 絵 黒井 健 (偕成社)

熊四小の取組「みんなを大切に！」

熊野第四小学校

今年度、本校では、学校全体における人権意識を高める教育活動を行っています。集団の自治力を育て、問題行動等に対して主体的に課題解決していこうとする態度や実践力を培うことをねらいとして取り組みました。具体的な取組は2つあります。1つ目は道徳科の授業を通して相手意識を高める指導を行いました。6年生では「言葉のおくりもの」という題材を使って、友達との友情や信頼について考えました。また、今年度は道徳科の参観日を設けて、保護者にも参観していただきました。2つ目は「思いやりの木を育てよう」という取組です。校内に「思いやりの木」を設置しました。最初は何もない木でしたが、各学級で「人の役に立つ行動」について考えていくことに取り組み、思いやりの実を増やしていきました。「保健委員会の人々が学校の皆のために石鹸を補充していた」「1年生がこけたとき、6年生が声をかけていた」「他の学年と一緒に遊んで笑顔が増えた」など相手を大事に想ったり、周りの人と認め合ったりしたことが書かれていました。日頃の生活から人権意識を高めていこうとする姿が見られました。今年度の取組で培った力をこれからの学校生活に生かしていき、より良い集団づくりに繋げていきたいと思っています。



(教育総務課)

オンライン配信で授業参観

熊野第二小学校

本校では、国のGIGAスクール構想に基づいて、学校生活の様々な場面を捉えて児童の情報活用能力の育成やICTを活用した授業改善、教職員の資質向上を図ってきました。

2月に予定していた授業参観は、多くの学級で発表形式の授業を予定していました。しかし、県のまん延防止等重点措置が延長されたことを受けて、オンライン配信で全学年、全学級の授業参観を行うこととしました。通常の授業参観とは違い、授業の組み立て方や発問内容、カメラアングルなどで指導者側が工夫することがたくさんありましたが、GIGAスクールサポーターの協力を得ながら、無事実施することができました。

Wi-Fi設定など、様々な面で保護者の協力をいただきながらの実施でしたが、大きな不具合が起きなかったことは、熊二小にとって非常に意味のある取組となりました。



(教育総務課)